算数科 小学校 ６年

単元名　場合を順序よく整理して
啓林館　わくわく算数６下

単元の流れ（全７時間）

単元目標
　組みのつくり方やならべ方を順序よく図や表にまとめ、整理して調べる。

第１次　場合の数の調べ方　【第１時～第５時】
組のつくり方やならべ方の整理の仕方を理解する。

第１時　４つから２つとる組の作り方を理解する。
第２時　４つから３つ、５つから４つとる組の作り方を理解する。
第３時　３つのものや４つのもののならべ方を理解する。（本時）
第４時　４つから２つ・３つを選んだならべ方を理解する。
第５時　組みのつくり方の練習問題をする。

「活用」の力育成のために
　児童が見通しを持ち、筋道を立てて考える力を伸ばす。
　解決のための方法や結果について見通しを持つために、問題の要素を確認したり類似の場面から推測したりする学習習慣を身に付けさせる。

CLICK　単元計画の詳細はこちら

「活用」の力育成のために
　児童の表現する力を伸ばす。
　考えを表現する過程で、自分のよい点に気付かせたり、誤りに気付かせたりする。また、表現することで筋道立てて考える力も身についていく。

第２次　いろいろな場合を考えて【第６時～第７時】
いろいろな場合を順序よく整理する方法を理解する。

第６時　全部の道順を調べ、目的に合う道順を見つける。
第７時　練習問題をする。

単元構成の意図

　本単元は、起こり得るすべての場合を適切な観点から分類整理して、順序よく列挙できるようにすることをねらいとしている。
　起こりうる場合を順序よく整理して調べるとは、思いつくままに列挙していたのでは落ちや重なりが生じるような順序や組み合わせなどの事象について、規則に従って正しく並べたり、整理して見やすくしたりして、誤りなくすべての場合を明らかにすることを指している。
　本単元では、第１次で場合の数の調べ方の基礎的な内容を理解させ、第２次で日常の生活場面に適用して問題解決に活用できる力を身に付けさせる。また、規則に沿って考えたり、順序よくまとめるたりすることで、落ちや重なりがなく組み合わせを考えられることを実感できるようにする。

「活用」の力を育てるポイント

・自分の考えを図や言葉で分かりやすく友だちに説明させる。また、友だちの考え方や整理の仕方、説明の仕方のよさに気付かせる。
・学習したことが日常生活のさまざまな場面で活用されていることに気付かせる。

本時の流れへ　授業展開例へ　評価問題　HOME